



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2021年(令和3年)12月20日発行

◆Vol.53

故きを温ねて、新しきを知る

〜帯広葵学園のあしあと〜

(平成29年3月20日 十勝毎日新聞)

平成29年、緑陽台保育園に園歌誕生

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

音更町より緑陽台保育園の経営移管を受けたのは平成26年の秋のことでした。帯広葵学園がすべての運営に責任をもつことになったのは翌27年の4月からです。この経緯については、学園通信42号で紹介しています。

当時、緑陽台保育園には「園歌」はありませんでした。校歌もそうですが、園歌は反打ち意識を強くしてくれそうです。ぜひ、緑陽台保育園にも園歌が欲しいと思っていましたが、その機運はなかなか盛り上がりませんでした。

平成28年春、その緑陽台保育園に「園歌をつくらう!」とする声がようやく出始めたのです。さつき職員はその準備に入ります。どんな歌詞にするかは職員全員でアイディアを出し合いました。それを当時の木幡悦子園長が一つの詩にまとめあげたのはその年の夏です。

できた詩は、以前帯広葵学園のつづじが丘幼稚園の園長であり、その園と帯広の森幼稚園の園歌を作曲した菅幹夫先生にところに持ち込まれます。

見事なメロディがついたのは平成28年の10月でした。そして、子ども達が一生懸命覚えた「緑陽台保育園園歌」は、平成29年3月の卒園式で披露目となったのです。実に新鮮な歌声が今でも聞こえてきます。

十勝毎日新聞

職員のことを詩に 作曲は菅さん

新しい園歌 元気に

【音更】4月から認定こども園に移行する緑陽台保育園(木幡悦子園長)で18日、卒園式が行われ、卒園児21人と在園児84人がともに新しい園歌をお披露目した。

新しい園歌は同保育園の職員の思いを木幡園長が詩にまとめ、系列のつづじが丘幼稚園(帯広)元園長の菅幹夫さん(73)「帯広」が作曲した。菅さんは音更や帯広の中学校で音楽を教え、市内小学校の校長を退職後、同幼稚園の園長を務めた。これまで同幼稚園園歌や帯広南町中学校校歌などの作曲を手掛けてきた。

園歌は昨年10月に完成し、園児たちは12月ごろから練習を重ねてきた。この日は卒園証書授与の前に、卒園児を含めた全園児で元気づけに歌声を響かせた。園児の歌を見守った菅さんは「緑の大地」という詩から始まるので、ゆったりとおおらかな旋律を作った。詩に込められた思いが子どもたちに伝わるのが大事。楽しく歌ってくれていたのが良かった」と話していた。

同保育園は15年4月、町から学校法人帯広葵学園が運営を受託した。4月1日から保育型の「認定こども園緑陽台保育園」となり、幼稚園部門で12人を受け入れる。(澤村真理子)



元気よく歌う卒園児。式では新しい園歌が披露された。

〈緑陽台保育園 園歌〉

1、緑の大地に まぶしい光
たくさん響くよ 歌声が
元気づけよう歌おうよ
僕と私の声が弾ける
緑陽台保育園

2、青い空に きらきら
明るく強くたくましく
力いっぱい走ろうよ
僕と私の笑顔あふれる
緑陽台保育園

3、優しい心と 丈夫な体
先生にこに 笑つて
お手つないで遊ぼうよ
僕と私の未来輝く
緑陽台保育園



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>

帯広の森幼稚園



つづじが丘幼稚園



012 青い鳥保育園



緑陽台認定こども園



柳町保育園



駒場認定こども園



012 おびもり



あおいキッズランド

あおいとり
プラス

東土狩保育所・南中音更保育所・西中音更保育所